

東京バレエ団 ブルメイステル版「白鳥の湖」全4幕



【日時】

2024年

4月26日(金) 18:30

4月27日(土) 15:00

4月28日(日) 15:00

4月29日(月・祝) 15:00

【ご優待価格】

S席 ¥13,050

◆入場料金(税込)

S: ¥14,500 A: ¥12,000 B: ¥9,000 C: ¥7,000 D: ¥5,000 E: ¥3,000

【販売方法】

WEB販売 ID: [hamagojo](#) パスワード: [kanagawa2024](#)

■出演

東京バレエ団


会場: 東京文化会館(上野)

指揮: アントン・グリシャニン

演奏: 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

※5歳以上入場可。

※上演時間: 約3時間(休憩2回含む)



神秘的でドラマティックな「白鳥の湖」の決定版！

満を持して新たなキャストもデビュー！

最高潮の東京バレエ団をバレエの代名詞「白鳥の湖」でお楽しみください。

東京バレエ団創立 60 周年記念公演の第 5 弾は、魔法で白鳥に姿を変えられたオデット姫と彼女に愛を捧げるジークフリート王子の恋のゆくえを描く、古典バレエの名作「白鳥の湖」。東京バレエ団が上演するのは、数ある演出版の中でもドラマティックな演出が特徴のブルメイステル版です。芸術監督の斎藤友佳理が就任直後から上演に取り組み、2016 年に初演を果たしたのちも、衣裳や装置の新制作を続けて、2022 年に 6 年越しでプロジェクトを完成させました。

そのハイライトはオデットとジークフリートの愛の成就を阻止しようと企む悪魔ロットバルトが、娘オディールとともに乗りこんでくる第 3 幕のお城の舞踏会。王子を誘惑するオディールが“各国の踊り”のダンサーたちとともに躍動し、王子と観客を幻惑するスペクタクルが展開します。主演にはこれまでも本作品で好評を博してきた沖香菜子・宮川新大のほか、今回は榊優美枝がトップ・プリンシパルの柄本弾を相手役としてデビュー。また近年全幕の主演を立て続けに果たしている新鋭の中島映理子と若きホープ生方隆之介のペアが挑みます。

2023 年の「ジゼル」(東京・オーストラリア)や新制作「眠れる森の美女」が絶賛され、いまや東京バレエ団のクラシック・バレエは折り紙付き。その実力を(バレエの代名詞)と言われる「白鳥の湖」でたっぷり味わってください。